

# 京都大学理学研究科・理学部数学教室同窓会

## 役員会議事録（案）

2020年1月18日（土）14:00～16:00 理学研究科3号館305セミナー室

出席者：井川満，重川一郎，池田保，木坂正史，平賀郁，吉川謙一，菊地克彦，田中紀子  
欠席者のうち，松本和一郎，鶴敏朗，吉田敬之，浅岡正幸の5役員からは委任する旨の連絡

があった。

中山素生，稲生啓行幹事および篠崎由香里氏からは欠席の連絡があった。

### 議事

#### 1. 年会費について

総会にて，米谷会員より“年会費”を納めることを求めながら，未納入者に対する罰則が何もないのはおかしい。罰則を設けないのなら“年会費”なる語を使わず“寄付”とすべきではないかとの質問があり，総会では「年会費納入は会員の努力目標とする」という文言を議事録に残すことになった。

その後，井川会長と米谷氏とのやりとりの中で，“年会費”なる語を残すならば，「本会則は会員協調の方向を示すものであり，同窓会と会員個人との契約を示すものではない」との文言を会則等に加えてはどうかという提案があった。今後もこのような議論が続くかもしれないが，当面は毎年行われる総会の議事録に，年会費については「努力目標とする」という文言を残すことにするとともに，年会費納入依頼のビラに「未納入者に対する罰則は設けていないが，年会費納入は会員全ての努力目標である」という文言を加えることが決まった。

この件に関して，年会費の納入者と未納入者に差をつけてはどうか。差をつけるならば，どのようなものが考えられるか。納入者には，会長名で御礼の手紙を送付することも考えられる，等の意見がだされた。今後もこの問題への対処法を探ることになった。

#### 2. 愛称募集について

総会で「募集の締切を1年間延期し，より多くの方からの応募を求める。その際，今まで応募いただいた愛称とその理由を，応募者の名前を伏せて公表し，必要ならば今後の応募の際の参考にしてもらってもよい」とのことが決まった。

今後の愛称選考手順としては，これから定める締切の後，役員会で応募者の名前を伏せた上で，既に応募のあった愛称候補とこれからの寄せられる愛称候補より，いくつか選定し，次の総会に諮る。もし相応しい愛称がなければ，締切の再度の延期は行わず，愛称の決定を見送ることにする。

今まで応募いただいた愛称は，メールにて会員に公開する。愛称の理由は，pdfファイルにしてメールに添付する。メールには，相応しい愛称の候補がなければ，今回も愛称の決定を見送る旨を明記する。

#### 3. 京都大学創立125周年記念事業について

吉川役員を通じて，京都大学基金より創立125周年記念事業についての協力依頼が数学同窓会にあった。

記念事業の広報誌の送付のため、数学教室同窓会が保有する名簿の提供等の協力を依頼された。広報誌は年3回発行されるとのこと。

数学同窓会の名簿管理は、京大アラムナイの名簿管理の許に行っており、そのため当会は卒業生に京大アラムナイへの登録を促している。

このようであるのに何故、京都大学アラムナイが保有している名簿を用いての送付ではなく、部局同窓会に協力を依頼する理由を確認し、数学同窓会への登録の趣旨に反しないかを調べる必要がある。

井川会長、重川副会長、吉川常任幹事(数学教室教授)が直接問い合わせることにする。協力についての正式は返答は井川会長名で行う。

#### 4. 就職活動に対する同窓会の協力について

数学教室就職担当の宍倉教授より、学生の就職活動にて、同窓会への協力の依頼があった。数学教室と同窓会が共同で、在学生と卒業生を結びつけるものとして、就職活動セミナーを実施する。セミナーの後、懇親会等で在学生と卒業生が交流する機会を設ける。対象は主に修士課程学生であるが、学部生を排除するものではない。

就職活動に関する協定との兼ね合いもあり、同窓会が主体となるという形で関わることに意味がある。このような機会を設けることにより、学生にとっては、一度に複数の企業と関わる事が可能となったり、ほとんど就職活動を行っていない学生にとっても、活動のきっかけとなる。段取りはマイナビが行う。2月11日(火・祝)、15日(土)、16日(日)にのいずれかで実施する予定。

時期が迫っていることもあり、井川会長、重川副会長の判断で同窓会として関わることとし、宍倉教授に連絡した。

以上、散会となる。